

## 令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	4	学校名	静岡県立伊豆伊東高等学校	記載者	大野 浩史
------	---	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的な生活習慣を定着させるとともに、社会性を高め、他人を敬愛する心を育てる	年間出席率 90%以上 生徒情報共有会年間 20 回以上	A	A	○生徒のメンタルヘルスが良好と考えます。 ○個々の状況が異なるが互いに支え合って、卒業を目指す雰囲気作りをお願いしたい。
		いじめが解消されていない件数 0 件	A	A	○いじめの案件は私も認知している者はゼロです ○今後も継続努力をお願いします。 ○成果目標の表現がわかりづらい。「いじめ認知件数 0 件」のほうがわかりやすい
イ	基礎・基本の理解を深め、確かな学力に結び付けるとともに、個々の特性・志向に応じた学力の向上を目指し、授業改善を図る。	授業評価アンケートの授業に対する評価 8 項目のうち、A 評価の割合 75%以上が 5 項目以上	C	C	○B 評価に近い C 評価であり、今後の改善を希む ○実生活と結びつく学習を重視すると共に、人生を豊かにするための読書活動の推進も大切だと考える。 ○A 評価としなかった具体の理由等を確認することが必要だと思います。 ○先生方の授業の仕方が原因なのか、生徒の積極的な学びがたりないか、対応が大変だと思います。
		学力系 5 種目のコンクールでの平均得点率が 70%を超えるものが 3 種目以上	A	A	○授業評価は減少したようですが、結果は出ているので良いと思います。 ○モチベーションがあがるコンクールなど是非継続頂きたい。

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ウ	自己や職業に対する理解を深め、自立した生活を送る意識や進路意識を育てる	各学年の生徒の就業率(アルバイトを含む)が70%以上	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就業についての指導は難しいと思います。</li> <li>○生徒の実態を把握して適切に指導をお願いします。</li> <li>○就労しながら登校してくる生徒と、今後就労する生徒が混在していると思われるので、教師の指導を中心に、相互交流を促す事もモチベーションアップに役立つと思う。</li> <li>○就業率の数字は好ましくないが、やむをえないと思う。生徒の実態に応じた指導をお願いします。</li> </ul>
		アンケートで、自分の将来に対する、はっきりした夢や希望を持っていると答える生徒60%以上。	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3～4年次に高い成果が出ることを期待します。</li> <li>○もう少し夢や希望を持てるよう生徒との面談や相談等の時間をもうけるようにしてください。</li> <li>○キャリア教育については経済界として協力するので、相談連絡してください。</li> <li>○高校生には色々な選択肢を教えることが大事だと考えます。何がしたいより何でもあるよと導くことが大事ではないでしょうか。</li> </ul>
エ	学校行事、生徒会活動、部活動などへの参加を促進し、心豊かな生徒を育てるとともに、自己肯定感を向上させ、自分らしさの創出を図る。	主要な学校行事、東部定時制合同文化祭への参加率85%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校を楽しめているあらわれが見てとれます。</li> <li>○行事やイベントで責任ある役割を与えて「役立ち感」を育成してほしい。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
オ	健康、安全な生活を送るため、心身の自己管理能力を向上させる	朝食摂取率 40%以上 10 時前起床率 65%以上	A	A	○健康意識をもう少し高めたい。 ○家庭との連携が大切なところなので、早寝や早起きを促したい。 ○成果目標の設定が低い。 ○朝食摂取の大幅アップはすばらしいと思います。
		交通事故件数が3件以内 交通違反件数0件	A	A	
カ	定時制教育に対する理解を深める	保護者アンケートで、学校に対する信頼度 80%以上	A	A	○定期的な保護者との面談も大切と考える。
		定時制関連の記事が新聞に掲載される件数年間5回以上	B	B	○部活動等定時制教育の現状を知ってもらうために広報活動に努めてください。 ○部活動での取り組みが新聞に載るよう広報していくとよい。 ○年間5回以上大変かと存じますが10~20回と少しでも情報発信ができるようにしてほしい。
キ	業務改善により教員の豊かな教員人生を確保し指導の質の改善をはかる	アンケートで学校が楽しい、授業がよくわかると答える生徒 80%以上	B	B	○複雑な状況下の生徒もいる中、7割以上が楽しいとしているため。 ○A 評価になるよう学校生活の充実を図って下さい。 ○授業以外の活動の充実と共に、「学校が楽しい」に結び付く授業改善が必要 ○生徒本人の学校に対しての向きあい方・考え方で変わってくることもあるのでアプローチの仕方をかえる必要はないのでしょうか。
		最終退庁時間内での退勤 80%以上、各職員の年休取得日数年間10日以上	A	A	